

「高知の授業の未来を創る」推進プロジェクト
「主体的・対話的で深い学び」を実現するための実践研究事業
第2回 授業研究会

【発行】
 令和元年7月
 高知市教育委員会
 学校教育課
 学力向上推進室

学びに熱中する子供の姿がここにある！

「主体的・対話的で深い学び」を実現するための実践研究事業では、教材分析力・授業分析力の向上を目指し、潮江東小学校（指定校）を会場に教材研究会・授業研究会を実施しています。今回は、第2回【授業研究会】（7月5日実施）での学びの様子と本時までの単元の様子を最終板書を通して紹介します。

今後の予定と申込みについて
 今後の日程及び申込みについては、HPをご参照ください。
 他のレポートも多数掲載！



第3学年 単元名「給食のひみつをさぐれ！わたしたち給食探偵団！！」
 教材名「インタビューしてメモを取ろう」（東京書籍3年上）
 授業者 正岡 瞳 教諭（高知市立潮江東小学校）

提案の主旨 「見方・考え方」を働かせて学びを深める国語科単元づくり（授業づくり）のあり方
【本単元で付けたい力】 目的に合わせて、だじなことをまとまりごとに整理してメモを取りながら聞く力
【設定した言語活動】 みんなの知らない給食のひみつをクイズにまとめて全校に発表するために、情報を集め、要点をおさえメモを取る活動

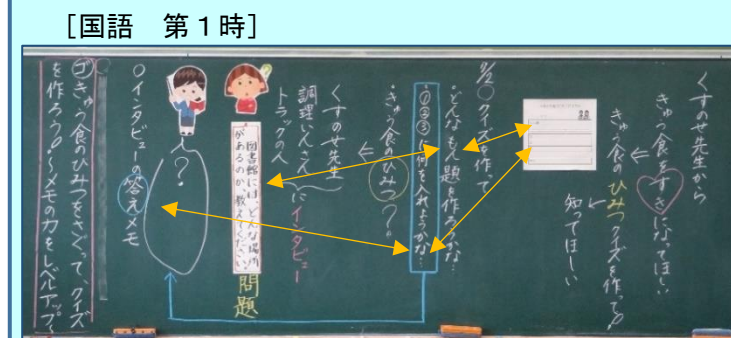
本時までの各時間の最終板書

「見方・考え方」の成長の過程を描いた単元づくり

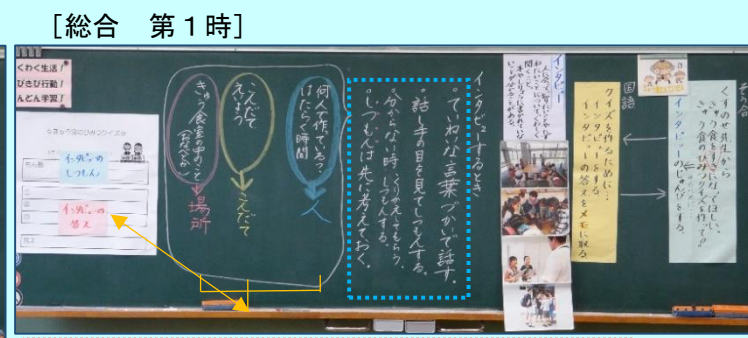
単元計画の設定

次	国語科 学習内容	総合
一次	給食クイズを作ろう！ メモの取り方が上手になりたいな。	インタビューのマナー・質問
二次	上手にメモを取るポイントって？ 答えがいくつかのまとまりでできているか聞き取る。	クイズの作り方・国語科に向かう疑問を生む場
三次	クイズに豆知識を付け足したい！ どんな情報をメモに取るのいいのかな？ 他にもインタビューしたいことがあるよ！ 今まで学習したことを使ってメモが取れるかな？	クイズに豆知識を付け足す・クイズ作り
四次	全校に給食クイズ発表 学習貯金にまとめよう！ メモの取り方は社会見学などでも使えそうだね。	クイズ発表練習

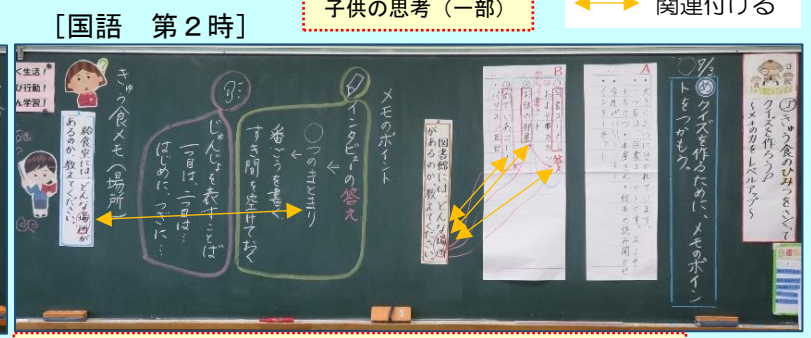
見方・考え方が鍛えられたい単元づくり



インタビューしたい。⇒メモの力をレベルアップしたい。



インタビューするときに気を付けたらいいことが分かった。



順番を表す言葉に気を付けて、まとまりごとにメモするといいね。

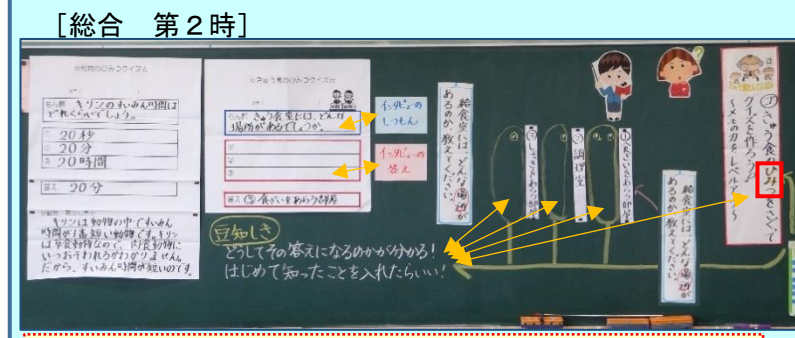
「見方・考え方」の成長の過程を描いた単元づくり

言語活動の設定

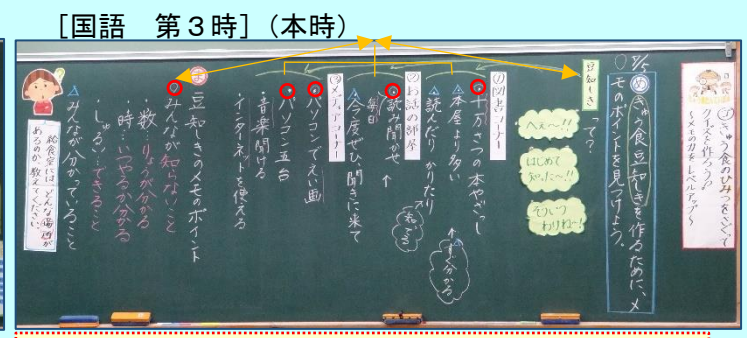
みんながもっと給食を好きになるクイズを作ろう！

クイズを作るためにインタビューしてメモを取ろう！

教材に身に付けたことを適切に使える単元づくり
 子どもが取り組みたくなる魅力ある単元づくり



クイズの豆知識を作るために、もう一度桶瀬先生にインタビューしたい。



豆知識には、給食のひみつ（知らないこと）をメモに取ればいいね。

【参会者の感想】

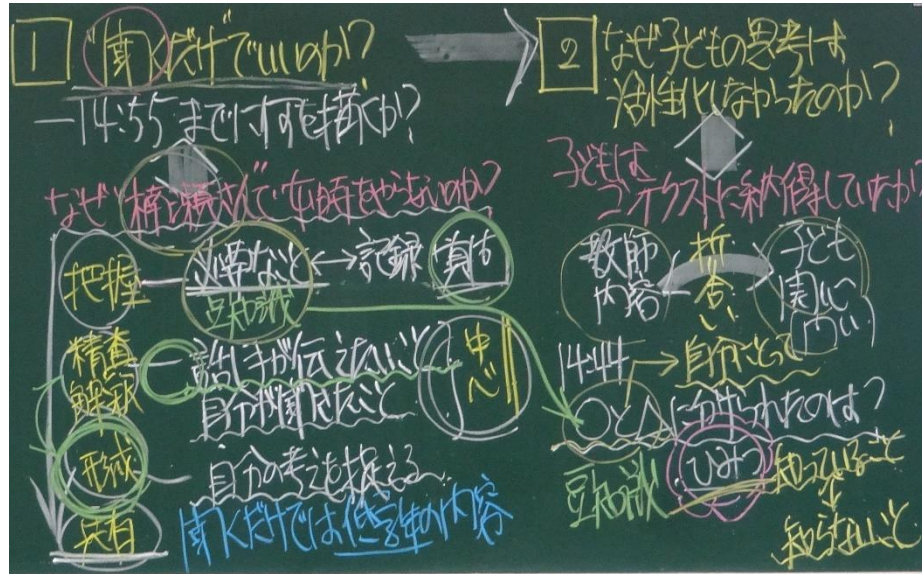
- ・教科と総合で同じ内容（単元）を扱いながら、見方・考え方を深めていく授業の構成がよいと思った。総合以外の教科との関連もこれからどんどん取り組むべきだと今日の実践を見て感じた。また、「わかる」と「できる」を行き来する構成がどうかという点は、本時案に頼りすぎず、子供の思考の流れや子供とのやり取りの中で授業を創っていくことが大事だと思った。
- ・前時の図書館のメモから、必要・不要なものをどう捉えるかを押さえた上で、それを基にして給食室について活用しているのは、「聞く」ことを今まで意識しながら学習してきた成果だと思う。さらに中学年では質問することができるようにすることを齊藤先生のお話から実感できた。相手意識・目的意識をもたせる授業づくりを意識しながら取り組んでいきたいと思う。

講師による全体指導

単元再考！さらなる極みを期待!!

講師 高知県教育委員会事務局学力向上総括専門官（島根県立大学教授）

齊藤 一弥 先生



重要 何を豆知識と捉えるか、自分なりの考え・思いをもつ

① 精査・解釈は、話の内容を忠実に分析して、どういうことだったのかをはっきりさせること。第3学年では、話し手が伝えたいことの中心を捉えることと、自分が聞きたいことの中心を明確にして聞くことの二つの側面が重要になる。
 形成は、精査・解釈してはっきりさせた話の内容に、自分のこれまでの経験や思い・考えを入れ込んで、自分の考えを捉えること。

② クイズの豆知識に必要なこと（給食のひみつ）をインタビューしてメモを取る場面で、「メモに取るものと取らないものとの違いは何？」という問いは、問うべき問いとしてよかった。
 ここでは、**豆知識として何を伝えたいか**ということを大事にし、子供に**自分なりの考え・思い**をもたせることが重要。豆知識と捉えた内容が、一人一人違うことでスレが生まれ、「なぜ自分はそう考えたのか」と考えるようになり（**形成**）、これを確かなものにしていくために**再度インタビュー**したくなる。つまり**相手意識**が生まれることになる。



重要 一人一人の子供の目的意識に支えられたインタビュー

③ **目的意識**に合った取材にすることが重要。自分が豆知識になると捉えた給食のひみつについて、情報収集・情報選択（これが能力）をする。その中で、分からないこと・質問したいことが出てきたので、再び**インタビューする（話す）**という学習活動にしたい。
 豆知識が、**その子供にとって重要なこととして着眼させられる単元構成**にすることが大切。これが、本単元でめざす「**目的・相手意識に支えられたインタビュー（話す・聞く）**」になる。